

ごみ袋を大幅値上げ

市民負担 1億5千万円^(年間) ふやす



12月議会がはじまりました。19日が最終日です。議案は、一般会計などの補正予算案のほか、ごみ袋値上げ(市民負担増・年間1億5千万円)や飯塚東保育所廃

止(民営化)などの条例案が審議されます。総田工業団地づくりの借金返済は、再来年から毎年2億から3億円になります。住民へのしわ寄せは許されません。

工業団地
総田

毎年2億から3億円
借金返済が市民生活を圧迫

ごみ袋の値上げは、家庭用

です(当初計画・下表参照)。

大10枚500円が700円、300円が400円などです。市の収入(市民負担)は約3億8千万円(昨年度実績)から、約1億5千万円もふえ、4割の値上げです。総田工業団地づくりのツケが、市民に早くも回ります。

この工業団地の借金返済(元利26億4700万円)は、再来年度が約1億7千万円、その後8年間は約3億円、最後の年度が約1億6千万円。秘密の会議で結論を出して

飯塚東保育所の民営化議案も

名古屋国際ホテル
飲食代40万円
総田工業団地へ企業誘致セミナー

飯塚市は11月13日、名古屋国際ホテルで行い、企業誘致の催しを行いました。トヨタ自動車九州の特別顧問の講演、飲食をしながら、飯塚市と総田工業団地づくりを紹介しました。

案内状は約400発送しましたが、誘致対象企業の参加は28社程度。進出が決まったところはありませぬ。

講演料20万円や飲食費40万円を含め約130万円をつかいました。(飲食内容は、一人当たり約7千円の料理30人分、コーヒー、アサヒビール、焼酎、ウイスキー、ウーロン茶、ジュースなど)

総田工業団地づくり
借金返済当初計画

借入総額	22億円
利息	4億7000万円
合計	26億4700万円
(1年据え置き10年払い)	
2008年度	307万円
2009年度	4172万円
2010年度	1億7120万円
2011~2017年度	24億8532万円
2018年度	2億7626万円
2019年度	1億5578万円

学校統廃合で公民館エリア見直し

公共施設基本方針
実施計画(素案)

何十億円もかかる
火葬場新設を検討

公共施設の統廃合、民営化の実施計画(素案)に、大変な福祉切り捨て、新たなムダづかいが大問題です。その背景には、合併特例債(470億円枠)を期限までに使い切ろうとする考え方があります。いくつかについて検討の方向を紹介します。

- 桜の園(筑穂・特別養護老人ホーム30床)民間移譲
- 入浴施設 廃止(筑穂、額田、穂波福祉総合センター、庄内ハートモ二)、地元譲渡

まだ使える施設があるのに
何十億円もかかる
火葬場新設を検討

- (忠隈住民センター)
- 小中学校 再編(統廃合)
- 公民館との複合化
- 火葬場 統廃合(筑穂、大日寺)し、新しくつくる
- 体育館 地元貸与→廃止(筑穂、庄内、額田)
- 野球場 地元貸与→廃止(額田、庄内、飯塚)
- 庄内工業団地グラウンド 他用途への変更

市本庁舎

「新庁舎建設位置は穂波町地内とする(合併協定項目)との約束について

市長答弁(必要性があったときには)「合併当時の約束を守らなければならないのは、逆にみなさんにお聞きしたい」(8月28日、特別委員会)